

令和4年8月5日

大阪府知事 吉村 洋文 様

大阪府市地方独立行政法人  
大阪健康安全基盤研究所評価委員会  
委員長 田中 敏嗣

## 意見書

大阪府市地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所評価委員会共同設置規約第4条及び地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の業務運営並びに財務及び会計に関する大阪府市規約第8条の規定に基づく、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の令和3事業年度の業務実績に係る大阪府知事の評価に対する本評価委員会の意見は、下記のとおりである。

### 記

#### 1 大阪府知事の評価に対する意見

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の令和3事業年度の業務実績に係る大阪府知事の評価については、適正に実施されており、特に意見はありません。

#### 2 その他の意見

令和3事業年度の業務実績を踏まえ、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の今後の法人運営について、以下のとおり議論があったので参考とされたい。

##### (1) 健康危機事象発生時における先進的な取組について

新たな健康危機事象の発生に備え、国立研究機関や大学等とも連携し、迅速な科学的情報の提供体制の構築を一層推進されたい。また、引き続き OFEIT の積極的な活動及び強化に努められたい。

##### (2) 対外的な業務拡大について

地方独立行政法人としての自主性や機動性を発揮して、産業界等を対象とする研修事業など対外的な業務の拡大を図られたい。

##### (3) 広報活動の強化及び組織の活性化について

広く住民に対する有用な情報発信など、効果を念頭に置いた戦略的な広報を行うとともに、法人の認知度向上や、西日本の中核的な地方衛生研究所としての存在感の向上を図ることで、職員のモチベーション向上など組織の活性化に繋げられたい。

##### (4) 人材配置・組織づくりについて

施設一元化に伴い、独法化及び府市統合における効果を最大限発揮できるよう、組織の融合を進めるとともに、今後、様々な分野で法人が先端を行くよう人材の配置や組織づくりを検討されたい。

##### (5) 目的積立金制度の運用について

目的積立金については、引き続き、法人の経営努力を最大限評価するよう制度運用に配慮するとともに、その用途の内容や時期について、計画的に検討されたい。

以上